

報道関係者 各位

令和 7 年 8 月 28 日

【照会先】

神奈川労働局 労働基準部 安全課

課 長 塚田 和男

安全専門官 林 太郎

(電話) 045(211)7352

第 3 回神奈川転倒・腰痛災害防止大会を開催します

～ 開催場所は横浜市市民文化会館 関内ホール（大ホール）です～

神奈川労働局は、横浜市（健康福祉局）および神奈川産業保健総合支援センターとの共催により、「第 3 回神奈川転倒・腰痛災害防止大会」を令和 7 年 10 月 6 日（月）に、横浜市民文化会館関内ホールにおいて開催いたします。

近年、労働者の高齢化を背景に、転倒や腰痛に起因する労働災害が増加傾向にあり、労働災害全体の約 3 割を占める状況となっています。これらの災害は、事業場の施設や作業内容に加え、労働者の身体的負担が原因となることも多く、関係者一人一人が行動災害防止に対して正しい理解と関心を持ち、行動変容を促すことが重要です。

本大会では、事業者をはじめ、安全管理や健康管理の実務担当者の皆様に向けて、行動変容のポイントや、企業における健康経営の実践事例などを広く紹介し、労働災害防止の取り組みを促進することを目的としています。

なお、当日は大会開始前に、会場内にて先着順で骨密度測定体験を実施するほか、転倒・腰痛予防に効果的な保護具の展示ブースも設置する予定です。

【開催概要】

1 日 時 令和 7 年 10 月 6 日（月）13：30～16：30 頃まで
（骨密度測定体験は先着順で 12：00～13：30 まで）

2 会 場 横浜市民文化会館 関内ホール（大ホール）
（所在地 横浜市中区住吉町 4 - 4 2 - 1）

3 内 容
（ 1 ）特別講演

早稲田大学スポーツ科学学術院 スポーツ科学部 教授 ^{さわだ すずむ} 澤田 亨 氏

職場における転倒および腰痛予防対策について

～ 働き世代の健康を守る！厚労省ガイドに基づく行動変容のすすめ～

講演内容：厚生労働省の「身体活動・運動ガイド最新版」を活用した、

転倒・腰痛・生活習慣病の予防のための行動変容のポイント

(2) 好事例発表 (令和 6 年度セーフアワード受賞事例)

発表者：パナソニック ITS 株式会社 様

「楽しく競い合いながら体力チェック！」

～ 体力向上の行動変容を促し、転倒・腰痛等の労働災害未然防止につなげる～

発表者：三菱ケミカル株式会社 様

「三菱ケミカルグループ体操と安全安心体力テスト で従業員の転倒災害ゼロへ！！」

- 4 申込方法 大会に参加される場合は、別添 1 により専用ウェブサイトアクセスして、お申し込みください。
- 5 その他 開場に駐車場はありませんので、公共交通機関のご利用をお願いします。

別添資料

別添 1 申し込み方法について

別添 2 神奈川労働局管内における転倒・腰痛災害発生状況 (令和 6 年)

別添 3 第 3 回神奈川転倒・腰痛災害防止大会案内チラシ

参考 (過去の大会)

- 令和 6 年 2 月 5 日 第 1 回 神奈川転倒・腰痛災害防止大会
横浜市西公会堂 ホール (参加 140 人)
- 令和 6 年 10 月 10 日～11 日 第 2 回 神奈川転倒・腰痛災害防止大会
横浜市開港記念会館 講堂 (参加 300 人)
小田原三の丸ホール 小ホール (参加 100 人)

取材申込

神奈川労働局労働基準部安全課

電話 045-211-7352 (担当 ^{はやし} 林)

E-mail : anzenka-kanagawakyoku@mhlw.go.j

申し込み方法について

【大会参加申し込み方法】

参加される場合は、令和7年9月12日（金）までに以下の または により専用WEBサイトにアクセスし、お申し込みください。

なお、定員に達した時点で参加受付を終了させていただきます。

WEBサイトからの申し込み

（「労働局（労働基準関係）・労働基準監督署説明会等受付サイト」で検索し、トップページから神奈川をクリックし、日付順に並んだ一覧表から該当の説明会をクリック願います。）

第3回神奈川転倒・腰痛災害防止大会受付サイト

URL : <https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/briefings/NDM50Q==/e311032e4ed44f8e948a11cf35622aef>

二次元コードからの申し込み

下記QRコードからアクセスできる専用サイト（第3回神奈川転倒・腰痛災害防止大会受付サイト）からお申し込みいただけます。



【骨密度測定体験について】

大会当日は会場のロビーに設けた専用ブースにおいて、骨密度測定を実際にご体験いただけます。骨密度測定体験は大会開催前の12時00分～13時30分の間に先着順（定員となった場合は、ご参加いただけないことがあります。）で実施いたしますので、ご希望の方は会場にてお申し出ください。

その際に簡単なアンケート（年齢、性別、食事・睡眠時間等）のご回答もお願いいたします。

なお、測定は右足の踵で行いますので、裸足になることができる服装が望ましいです。

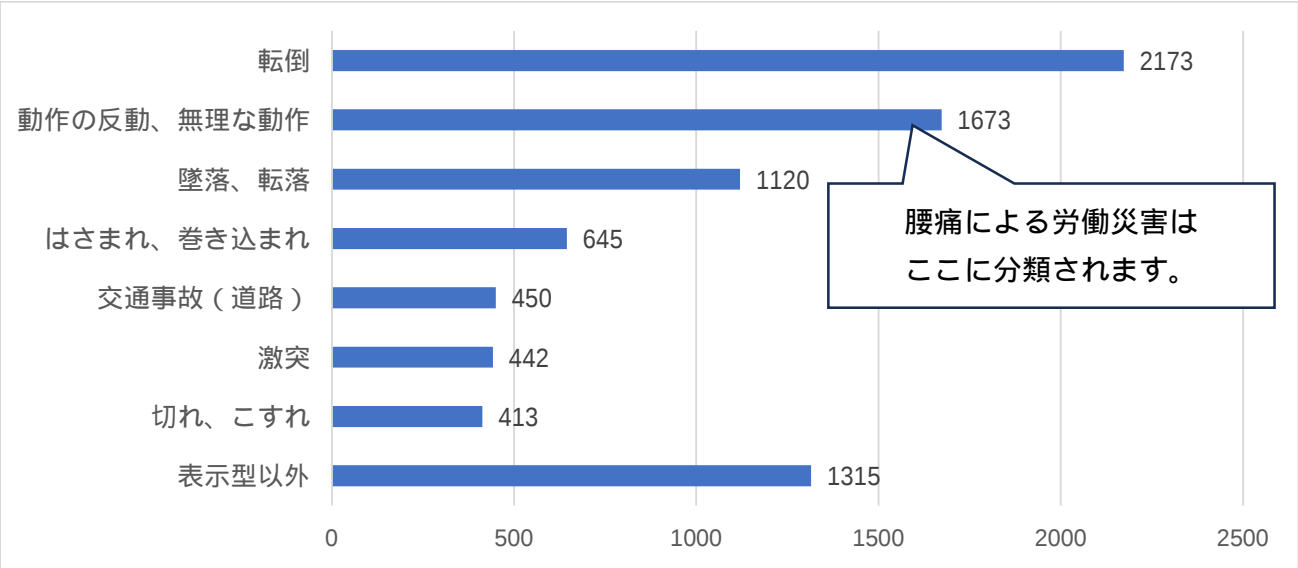
【大会会場までの地図】



所在地：横浜市中区住吉町 4-42-1

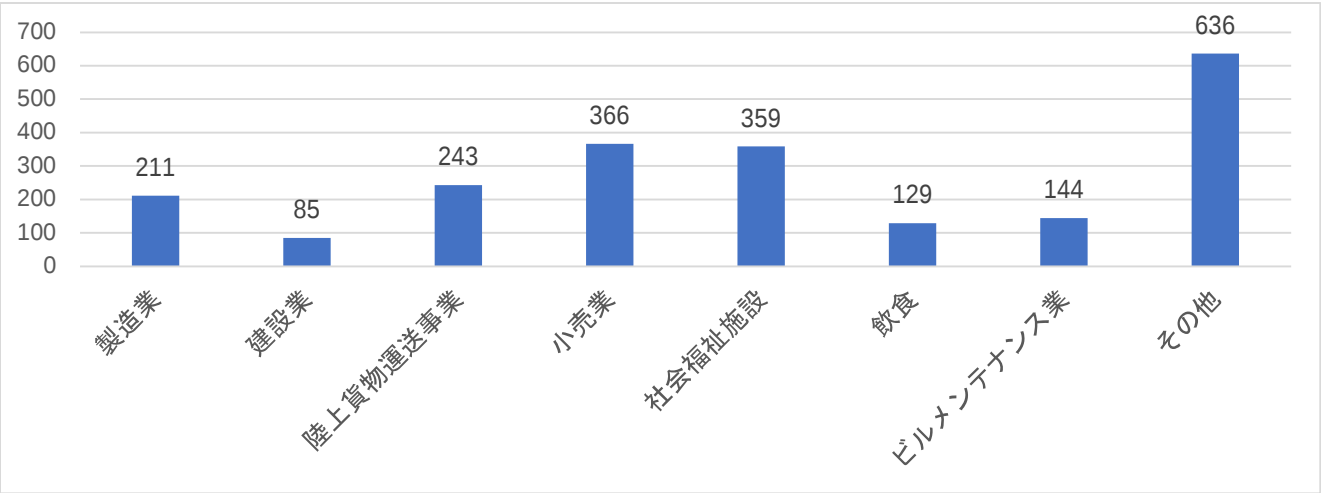


資料1 令和6年 事故の型別労働災害発生状況 (神奈川県労働局管内)



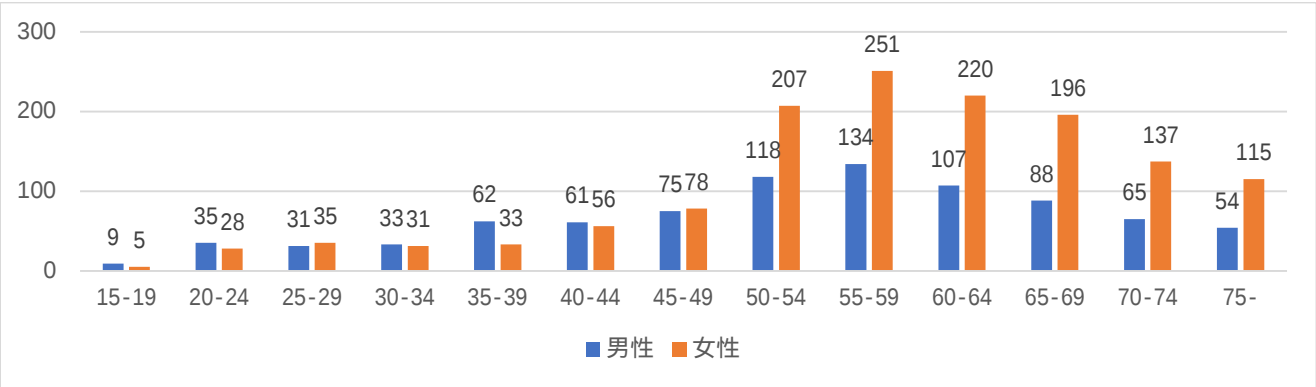
転倒と腰痛による労働災害の割合は全体の3割を超えています。

資料2 令和6年 転倒による業種別労働災害発生状況 (神奈川県労働局管内)



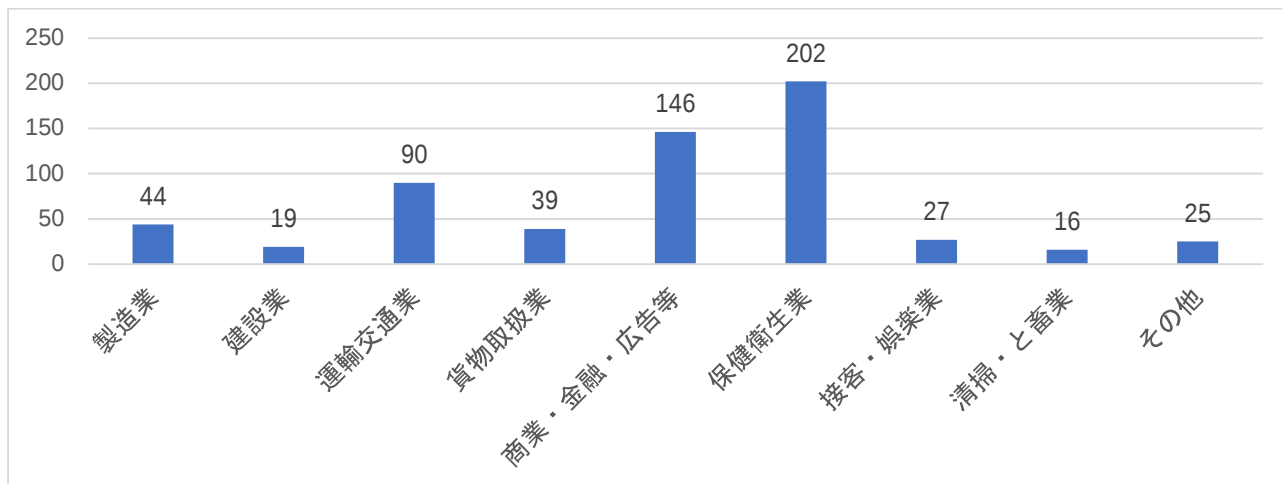
転倒災害は第三次産業で多く発生しており、特に小売業と社会福祉施設において目立ちます。

資料3 令和6年 転倒による男女別年齢階層別労働災害発生状況 (神奈川県労働局管内)



転倒災害では50歳以上の女性で多く発生しており、被災した後の休業も長引く傾向があります。

資料4 令和6年 災害性腰痛による業種別労働災害発生状況（神奈川県労働局管内）



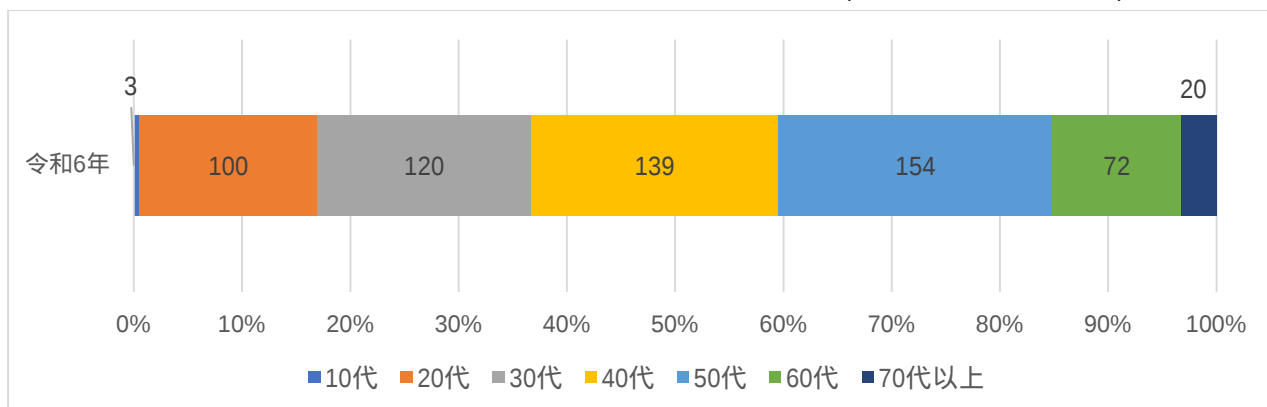
災害性腰痛は特に保健衛生業で多く発生しています。

資料5 令和6年 災害性腰痛による男女別労働災害発生状況（神奈川県労働局管内）

	男性	女性	女性の割合
全業種	297 人	311 人	51 %
うち保健衛生業	48 人	154 人	76 %

全業種でみると被災者の男女比は半々ですが、保健衛生業では就業比率の影響もありますが女性の割合が高い傾向にあります。

資料6 令和6年 災害性腰痛による年代別労働災害発生状況（神奈川県労働局管内）



災害性腰痛の年代別発生状況を見ると、50代が最も多く発生しており、50代以上の高年齢層での発生割合は増加傾向を示しています。

第3回 神奈川転倒・腰痛災害防止大会

今一度、確かめませんか？ **転倒・腰痛災害防止**について



- 開催日時 **令和7年10月6日(月)13:30～16:30**
- 会場 横浜市市民文化会館 関内ホール(大ホール)
(〒231-8455横浜市中区住吉町4-42-1)
- 定員 **600名**(先着順。申し込みは裏面を確認ください。)



特別講演

- 職場における転倒および腰痛予防対策について
～働き世代の健康を守る！厚労省ガイドに基づく行動変容のすすめ～

内容：厚生労働省の「身体活動・運動ガイド最新版」を活用した、
転倒・腰痛・生活習慣病の予防のための行動変容のポイントについて説明いたします！

早稲田大学スポーツ科学学術院 スポーツ科学部 教授 **澤田 亨 氏**



好事例発表



- 楽しく競い合いながら体力チェック！
～体力向上の行動変容を促し、転倒・腰痛等の労働災害未然防止につなげる～

発表者 **パナソニックITS株式会社**
アドミニストレーションセンター
総務部 部長 平林 秀茂氏

Panasonic
AUTOMOTIVE



- 三菱ケミカルグループ体操と安全安心体力テスト®で
従業員の転倒災害ゼロへ！！

発表者 **三菱ケミカル株式会社**
人事本部 人事部健康支援グループ
産業医 岡本 春美氏

MITSUBISHI
CHEMICAL
GROUP



主催：神奈川労働局 安全課
共催：横浜市健康福祉局健康推進課
神奈川産業保健総合支援センター

大会への参加は裏面の申し込み方法ご参照ください。

【参加無料】 申し込み方法



下記のURLおよびQRコードを参照していただき
専用の申し込みホームページ（労働局・労働基準監督署 説明会受付サイト）
からWeb申し込みによりお願いします。

【申込締切：令和7年9月12日（金）】

<https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/briefings/NDM5OQ==/e311032e4ed44f8e948a11cf35622aef>

労働局・受付サイト

検索

お申し込みはこちらから



奮ってご参加ください

当日は
骨密度測定や
保護具（作業靴、
腰部骨盤ベルト）
などの体験ブースも
予定しています。

【会場案内図】



【お問い合わせ先】 神奈川労働局 安全課 ☎ 045-211-7352